



1. 熱分解室に投入された廃棄物は揺動パドル上で乾燥・熱分解される。熱分解室の下部では廃棄物から発生した熱分解ガスが二次空気により完全燃焼する。
2. 熱分解室では、排ガスの一部が還流ガスとして供給され、その熱により乾燥、熱分解を促進させる。また、熱分解量は一次空気を調整することで行う。
3. 揺動パドルは、設定された範囲の煙道温度では約3分間隔で開き、十分熱分解された廃棄物を燃焼室に落とす。
4. 燃焼室では、熱分解室より落下してきた廃棄物を完全燃焼させる。
5. 冷却ダクトは、燃焼室で燃焼して灰となった廃棄物を一時保管し、常温まで冷却する。
6. 排出ダクトは、冷却ダクトで冷却された灰を灰ふるい機により、灰と不燃残渣(燃え残ったもの)に分別する。
7. 分別された灰及び不燃残渣は、それぞれ灰取り出しダンパ及び不燃残渣取り出しダンパ上に一時保管される。
8. 灰取り出しダンパ及び不燃残渣取り出しダンパ上の灰及び不燃残渣は、その下の各排出ゲート及び各取り出しダンパを開け、専用のドラム缶に回収される。

燃 焼 方 式 説 明 図